

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 「こどもと食と農の学校」 J A名 JAいなべ(三重県)

1 動機 (経緯)	次世代を担う管内の子供たちに、地域の農業の姿と食の大切さを理解していただき、関心を持ってもらうことを目的としています。
2 概要	1年間を通して食と農業について体験、学習してもらいます。 「田植えから野菜作り、収穫・販売、手作り料理」等の体験を月1回開催し、食と農業について楽しく学んでいただきます。 営農指導課がメインとなり活動していますが、各課の職員も応援参加するなど垣根を越えたJAの活動となっています。
3 成果 (効果)	管内全ての小学校に「こどもと食と農の学校」参加申込書を配布し、幅広く参加者を募りました。 JAと取引の無い家庭の子供たちも多数参加しており、JAの活動をよりよく理解していただき、食のあり方、いのちの大切さを学ぶことで、こどもたちの健全な育成に貢献しています。 また、信用事業では、この活動を通じて次世代を担う地域の子供たちとの繋がりを継続的に保つことができ、顧客基盤拡充に向けた有効な施策となっています。
4 今後の 予定(課題)	H23年度から開始した事業ですが、参加者から好評を得ており引き続き継続していきたいと考えています。



「こどもと食と農の学校」の開催(三重県)JAいなべ